令和６年度用小学校音楽

指　導　計　画　案　(2024. 2. 29)

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

・本資料は、教育芸術社発行の令和６年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽１～６〈104～604〉」に基づいて作成されています。　（用紙サイズは、B４ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。）

【本資料の扱い方について】

・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、
　教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
・ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
・本資料では、基本、１時間当たり１～２項目に精選して評価規準を示しています。

【２学期制への対応について】

・本資料は２学期制、３学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

題材名	1. うたって おどって なかよく なろう	扱い時数の目安 4時間
題材の目標	(1) 曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) リズム、速度、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 音楽を聴いて体を動かしたり声を合わせたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。	

題材の意図

この題材は、入学してまもない子供たちが、音楽に対して興味をもち、初めての学校生活に慣れて、楽しい気分で学習を進めることができるようにするとともに、新しい友達と出会い、仲よくなっていくことができるようにすることに重点を置いて設定してあります。

そのためにここでは、新しく出会った友達と互いに声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて遊んだり体を動かしながら音楽を聴いたりする活動を通して、友達と一緒に音楽活動の楽しさを感じ取ることができるように学習を進めていきます。

音楽に合わせて体を動かしたり、絵の中から見付けた歌を歌ったり、歌いながら遊んだりする活動によって、音楽を全身で感じ取りながら、子供たちと音楽との出会いを楽しいものにしていきましょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1)歌唱**ア、イ、ウ(ｳ)**
Ｂ鑑賞　**ア、イ**
〔共通事項〕※
・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
　ア　リズム、速度、旋律、強弱、拍

※・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み
・身近な音符、休符、記号や用語

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 曲想と速度や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている（鑑） ②知・技 曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（歌）	思① リズム、速度、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑） 思② 旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。（歌）	態① 音楽を聴いて体を動かしたり声を合わせたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（歌・鑑）

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
(導入) きいて うごこう	♪どみそらんど	1	●\みつける/ 音楽に合わせて体を動かしながら聴く。	◆曲想と速度や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
(導入) うたって なかよく なろう	○（歌探し）	2	●\うたう/ 挿絵の中から想起する歌を見付け、友達と声を合わせて歌う。	◆曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②知・技【行動観察、演奏聴取】
ともだちと いっしょに おどりましょう。	♪セブン ステップス ♪チェッ チェッ コリ (参考曲)	3	●\みつける/ 速度の変化に気付き、友達と一緒に踊りながら聴く。 ●\かんがえる/ 音楽に合わせて歌ったり体を動かしたりして、楽しく聴く。	◆リズム、速度、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、発言内容】
みんなで あそびながら たのしく うたいましょう。	(共)ひらいた ひらいた	4	●\かんがえる/ はすの花の様子を思い浮かべながら、歌い方や体の動きを工夫して歌ったり遊んだりする。 ●\うたう/ はすの花の様子に合う歌い方や体の動きで、声を合わせて歌う。	◆旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思②【行動観察、発言内容】 ◆音楽を聴いて体を動かしたり声を合わせたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【演奏聴取、行動観察、発言内容】 ※第１時から第４時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	2. はくを かんじとろう	扱い時数の目安 7時間
題材の目標	(1) 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能、音色に気を付けて打楽器を演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。	

題材の意図

この題材では、音楽の様々なリズムを感じ取ったり表現したりするための根幹となる「拍」に焦点を当てた学習を進めます。子供たちになじみ深い映画の歌やじゃんけん遊びをテーマにした歌など、体を動かす活動を取り入れやすい教材や、指導者や友達と即興的に挨拶の言葉や名前で呼びかけ合ったりリズムリレーしたりする音遊びの教材が配置されています。

音楽に合わせて手拍子や足踏み、行進をしたり、歌に合わせてリズムを手拍子や打楽器で打ったりする活動、拍にのった音遊びなどを通して、楽しみながら拍を感じ取る学習を進めていきます。その際、伴奏に合わせて歌ったり体を動かしたりするなどの活動を通して、拍を自然に感じ取ることができるようにするとよいでしょう。

また、基本的なリズムのまとまり（●●｜●・𝄀）や（●●｜●●｜●●｜●・𝄀）を打楽器で演奏する活動を行う際に、リズム唱や手拍子によるリズム打ちも合わせて行うことで、リズム感やフレーズ感を育てていくことができるので、この題材を入り口に、リズム唱やリズム打ちの学習を積み重ねていくようにしましょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1)歌唱**ア、イ、ウ**(ｱ)(ｲ)(ｳ)　(2)器楽**ア、イ**(ｱ)(ｲ)、**ウ**(ｱ)(ｲ)(ｳ)
　　(3)音楽づくりア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)
Ｂ鑑賞　**ア、イ**
〔共通事項〕
・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素※
　ア　音色、リズム、**拍**、フレーズ
　イ　呼びかけとこたえ

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(歌・器・鑑) ②技 思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、絵譜などを見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。(器) ③知・技 カスタネットの音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。(器) ④技 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)	思① 拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑) 思② 音色、リズム、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。(歌・器)	態① 拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・鑑)

＊「おとで おはなし」「✋で リレー」は拍やリズム、呼びかけとこたえを感じ取る学習につなげる導入の活動のため、本題材では音楽づくりの評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
	(そだてよう)おとで おはなし (そだてよう)✋ でリレー		●互いに「あいさつ」をし合い、呼びかけとこたえに親しむ。 ●手拍子でたん たん たん たん｜のリレーをしながら、拍を感じ取る。	
おんがくに あわせて からだを うごかしましょう。	♪さんぽ	1	●常時活動　拍のある、なしを感じ取る。 ●曲想を感じ取って聴く。 ●**\かんがえる/** 歌の様子を思い浮かべながら、楽しく歌ったり聴いたりして曲全体を楽しむ。	◆拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思①【発言内容、行動観察】
		2	●常時活動　拍のまとまりを感じ取る。 ●**\みつける/** 音楽に合わせて体を動かしながら曲想と拍との関わりについて気付く。	◆曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
たん たん｜たん（うん）の リズムで あそびましょう。	◇○じゃんけんぽん	3	●常時活動　たん たん｜たん（うん）　のリズムに親しむ。 ●**\えんそうする/** 拍にのって たん たん｜たん（うん）　のリズムを読んだり手拍子や打楽器で打ったりする。 ●**\みつける/** 体を動かしながら歌い、リズムの特徴に気付く。	◆思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、絵譜などを見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②技【演奏聴取】
		4	●常時活動　たん たん｜たん（うん）　のリズムに親しむ。 ●**\えんそうする/** 歌に合わせて、たん たん｜たん（うん）のリズムを演奏する。	◆カスタネットの音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③知・技【行動観察、演奏聴取】
うたに あわせて リズムを うちましょう。	◇○みんなで あそぼう	5	●常時活動　たん たん｜たん たん｜たん たん｜たん（うん）　のリズムに親しむ。 ●**\みつける/** 演奏を聴いたり歌ったりして、たん たん｜たん たん｜たん たん｜たん（うん）　のリズムに気付く。	◆曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】
		6	●**\かんがえる/** 歌に合った声の出し方や打楽器の演奏の仕方を工夫し、表現について思いをもつ。	◆音色、リズム、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 思②【行動観察、演奏聴取】
		7	●常時活動　たん たん｜たん たん｜たん たん｜たん（うん）　のリズムに親しむ。 ●**\うたう∧えんそうする/** 拍にのって歌いながらリズムを演奏する。	◆思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ④技【演奏聴取】 ◆拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【演奏聴取、行動観察、発言内容】 ※第１時から第７時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	3. はくに のって リズムを うとう	扱い時数の目安 ９時間
題材の目標	(1) 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、器楽の技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズム、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかや、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、いろいろなリズムに親しむ。	

題材の意図

この題材では、前題材での学習を基に、リズムの違いやまとまりを感じ取って、拍やリズムに対する感覚を楽しみながら育てていきます。

歌うこと、打楽器を演奏すること、聴くこと、体の動きを使って表現することなど、多彩な活動を通して、リズムの違いを生かした表現に思いをもったり、リズムと拍との関わりから感じる曲の楽しさなどを見いだして聴いたりすることができるようにします。また、３文字と５文字の言葉から生まれるリズムと、「反復」や「呼びかけとこたえ」を用いて、簡単な声遊びをする音楽づくりの学習においては、言葉をリズムに当てはめて唱える面白さや、それを友達とつなげて発表する楽しさを味わうことができます。その際も、拍に合わせて発表するようにし、拍にのることの楽しさを味わえるようにします。

この題材の学習を始めるに当たっては、「拍」と「リズム」は同一のものではないことをあらためて確認しておくとよいでしょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1)歌唱**ア、イ、ウ**(ｱ)(ｲ)(ｳ)　(2)器楽**ア、イ**(ｱ)(ｲ)、**ウ**(ｱ)(ｲ)(ｳ)
　　(3)音楽づくり**ア**(ｱ)(ｲ)、**イ**(ｱ)(ｲ)、**ウ**(ｱ)(ｲ)
Ｂ鑑賞　**ア、イ**
〔共通事項〕
・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
　ア　音色、リズム、旋律、**拍**、フレーズ
　イ　反復、呼びかけとこたえ

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(器・鑑) ②知・技 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌) ③知・技 タンブリンの音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、絵譜などを見たりして演奏する技能や、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。(器) ④知 言葉のリズムのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。(づ) ⑤技 思いに合った表現をするために必要な、反復や呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)	思① リズム、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑) 思② 音色、リズム、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。(歌・器) 思③ リズム、拍、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。(づ)	態① 拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・づ・鑑)

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
おんがくに あわせて リズムを うちながら ききましょう。	♪しろくまの ジェンカ	1 2	●常時活動　休符を感じ取ってリズムをリレーする。 ●**\みつける/** 音楽に合わせてリズムを手拍子や打楽器で打ち、曲想との関わりに気付く。 ●常時活動　たん（うん）｜たん（うん）｜たん たん｜たん（うん）のリズムのまとまりを感じ取る。 ●**\かんがえる/** 音楽に合わせて体を動かしながら、楽しんで聴く。	◆曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】 ◆リズム、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、発言内容】
はくに のって、あかるい こえで うたいましょう。	(共)かたつむり	3 4	●常時活動　歌い方の復習をする。 ●**\みつける∧うたう/** 歌詞の表す様子を思い浮かべながら歌う。 ●常時活動　既習のリズムの復習をする。 ●**\かんがえる/** 歌に合ったリズムを選び、歌いながら試し、表現の仕方について思いをもつ。	◆曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②知・技【発言内容、演奏聴取】 ◆音色、リズム、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 思②【行動観察、演奏聴取】
たんと たたの ちがいに きづいて リズムを うちましょう。	◇○ぶん ぶん ぶん	5 6	●常時活動　たた のリズムに親しむ。 ●**\みつける/** 演奏を聴いたり歌ったりしながら、リズムの違いに気付く。 ●**\かんがえる/** 音楽の感じに合う音色を試して探し、打楽器の打ち方について思いをもつ。 ●常時活動 拍にのって たん たん｜たん（うん）｜たた たた｜たん（うん）　のリズムを手拍子で打つ。 ●**\えんそうする/** 歌に合わせて、手拍子や打楽器を演奏する。	 ◆音色、リズム、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 思②【行動観察、演奏聴取】 ◆タンブリンの音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、絵譜などを見たりして演奏する技能や、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③知・技【演奏聴取】

たんと たたを つかって ことばで リズムを つくりましょう。	☆ことばで リズム	7 8	●常時活動　呼びかけとこたえに親しむ。 ●リズムに合う言葉を選んで表現する。 ●\みつける/ 二つの言葉の反復や組合せ（呼びかけとこたえ）の面白さに気付く。 ●常時活動　二つのリズムをつなげる面白さを感じ取る。 ●\かんがえる/\つくる/ 言葉の特徴を生かし、リズムのつなげ方を工夫してつくる。	◆言葉のリズムのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ④知【行動観察、発言内容】 ◆リズム、拍、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。 思③【行動観察】 ◆思いに合った表現をするために必要な、反復や呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ⑤技【演奏聴取】
うみの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	(共)う み	9	●常時活動　３拍子の感じをつかむ。 ●\みつける/ 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。 ●\かんがえる/\うたう/ 海の様子に合った歌い方の工夫をし、歌に合わせて体を動かしながらのびのびと歌う。	◆曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②知・技【発言内容、演奏聴取】 ◆拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ※第１時から第９時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	4. みの まわりの おとに みみを すまそう	扱い時数の目安 ２時間
題材の目標	(1) 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声遊びを通して、音楽づくりの発想を得る。 (3) 身の回りの音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。	

題材の意図

音には、音楽で使われる音とそうでない音があります。ここでは、音楽で使われる音以外の様々な音、子供の生活の中に存在する音そのものに着目します。その中で、気に入った音を発見し、生活の中で音が大切な役割を果たしていたり、気持ちを高揚させたり安らかにしてくれたりすること、反対に、聞きづらかったり耳を塞ぎたくなったりする音があることなどを感じ取り、音の意味を１年生なりに考え、生活の中にある音や音楽につながるような学習を求めています。

この題材は、まず、学校生活に慣れてきた時期に、学校の中で聴こえる音に耳を澄ますことによって、その音がどのような音なのか、声で即興的に表現しながら考え、音の面白さに気付くようにします。そして、どのような音が聴こえてくると、どのような気持ちになるのかを感じ取り、身の回りにあるたくさんの音に対する意識を高め、よりよい音を求めていく態度へつなげていきます。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(3)音楽づくり**ア(ｱ)、イ(ｱ)、ウ(ｱ)**

〔共通事項〕

・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素

ア　**音色**

イ　**呼びかけとこたえ**

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 声や身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。（づ） ②技 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声や音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。（づ）	思① 音色、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声遊びを通して、音楽づくりの発想を得ている。（づ）	態① 身の回りの音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。（づ）

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
みつけた おとで よびかけあいましょう。	☆おとを さがして あそぼう	1	●\みつける/ 学校の中で聴こえる様々な音の特徴に気付く。 ●\かんがえる/ 見付けた音を声で表現しながら友達に紹介し、いろいろな声の表現の発想を得る。	◆声や身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容、ワークシート】 ◆音色、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声遊びを通して、音楽づくりの発想を得ている。 思①【行動観察、演奏聴取、ワークシート】
		2	●\つくる/ 紹介した音を使って、友達と呼びかけ合いの声遊びをする。	◆発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声や音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。 ②技【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆身の回りの音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 態①【発言内容、ワークシート】 ※第１時から第２時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	5. どれみと なかよく なろう	扱い時数の目安 ８時間
題材の目標	(1) 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 階名と、鍵盤ハーモニカの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、音の高さの違いや鍵盤楽器への関心を広げる。	

題材の意図

この題材では、これまでに学習してきた拍やリズムなどに対する感覚を土台にして、新たに鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身に付ける学習を進めていきます。

導入では、子供たちの楽器への興味が高まるように楽器の一部を使って遊びます。そして、歌に続けて高い音や低い音、強い音や弱い音などを出して、鍵盤ハーモニカでいろいろな音を出す楽しさを味わったり、蜜蜂のいろいろな様子を思い浮かべながら鍵盤ハーモニカの音を聴いて、音色のよさや美しさを感じ取ったりして、音色に対する感覚を養いながら楽器に親しんでいきます。

また、鍵盤ハーモニカの学習と並行して、旋律を階名で模唱したり暗唱したりする活動を通して、音の高低を感じ取りながら音程感覚を養う学習も進めます。音程に対する感覚は、正しい音程で歌ったりみんなで声を合わせて合唱したりする音楽活動を行ううえで、とても重要な能力の一つです。ふだんの授業から階名唱の活動を繰り返し行い、子供たちの音程感覚を着実に育てていくようにしましょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1)歌唱**ア、イ、ウ(ｱ)(ｲ)**(ｳ)　(2)器楽**ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｲ)**(ｳ)
　　(3)音楽づくりア(ｱ)、イ(ｱ)、ウ(ｱ)

Ｂ鑑賞　**ア、イ**

〔共通事項〕

・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
　ア　**音色**、旋律、強弱
　イ　呼びかけとこたえ

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。(器) ②知 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。(歌・器・鑑) ③技 思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。(器) ④技 思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、範奏を聴いたり、絵譜などを見たりして演奏する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。(歌・器) ⑤技 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。（歌）	思① 音色、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。(器) 思② 音色、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑） 思③ 音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。(歌)	態① 階名と、鍵盤ハーモニカの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・鑑)

＊「🎹でおとあそび」は鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身に付ける学習につなげる音遊びの活動のため、本題材では音楽づくりの評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
けんばんハーモニカで いろいろな おとを みつけましょう。	◇☆たのしく ふこう	1	●息で遊びながら鍵盤ハーモニカに興味をもつ。 ●**\みつける/** いろいろな音の出し方を試し、音の高低や長短、強弱、音の重なりなど、楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付く。	◆鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】
		2	●鍵盤ハーモニカの音の出し方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもつ。	◆音色、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 思①【行動観察、演奏聴取】
どと その おとと ともだちになりましょう。	◇○どんぐりさんの おうち	3	●**\みつける/** 鍵盤ハーモニカに慣れながら、歌詞と関わらせてドとソの位置を見付ける。	◆曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ②知【行動観察、演奏聴取】
			●**\えんそうする/** 歌に続けて、息の使い方に気を付けながら鍵盤ハーモニカを演奏する。	◆思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【発言内容、演奏聴取】
けんばんハーモニカの おとをききましょう。	♪みつばちハニーの ぼうけん (そだてよう) で おとあそび	4	●**\かんがえる/** 蜜蜂の様子や場面を想像しながら、曲や鍵盤ハーモニカの音色のよさを味わって聴く。	◆曲想と音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ②知【行動観察、発言内容】 ◆音色、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思②【行動観察、発言内容】
どれみふぁその おとと なかよしに なりましょう。	◇○なかよし	5	●**\みつける/** 歌いながら、曲想と旋律や歌詞の表す気持ちとの関わりに気付き、ドレミファソの位置を確かめる。	◆曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ②知【行動観察、演奏聴取】
		6	●常時活動　鍵盤ハーモニカのド～ソを使って、音遊びをする。 ●**\えんそうする/＼うたう/** 絵譜を見たり覚えたりし、歌う組と鍵盤ハーモニカの組に分かれて表現する。	◆思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、範奏を聴いたり、絵譜などを見たりして演奏する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ④技【行動観察、演奏聴取】
おとの たかさに きを つけながら うたいましょう。	(共)ひのまる	7	●**\うたう/** 旋律の特徴を感じ取り、自分の歌声や発音に気を付けて歌う。	◆思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ⑤技【行動観察、演奏聴取】
		8	●**\かんがえる/** 音色や旋律を生かした歌い方について思いをもつ。	◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思③【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆階名と、鍵盤ハーモニカの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容】 ※第１時から第８時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	6. せんりつで よびかけあおう	扱い時数の目安 6時間
題材の目標	(1) 曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律の呼びかけ合いに親しむ。	

題材の意図

この題材では、旋律に焦点を当て、歌唱、音楽づくり、鑑賞の学習を通して、旋律で呼びかけ合うよさや面白さを感じ取ったり、旋律のつなげ方に思いをもって簡単な旋律をつくったりすることができるようにします。

歌唱教材「やまびこ ごっこ」では、互いの声を聴き合って同じ旋律を交互に歌いながら、声の出し方や強弱の工夫について思いをもち、それを基にしながら歌声や発音に気を付けて歌う力を養います。

音楽づくり教材「せんりつの よびかけっこ」は、鍵盤ハーモニカの復習も兼ねることができます。友達とつくった旋律をまねたりつなげたりする活動を進める際は、フレーズのつなげ方など音楽づくりの発想を得る学習と器楽の学習を関連させて、子供たちが無理なく表現の能力を伸ばせるようにしましょう。

鑑賞教材「こうしんきょく」では、旋律の呼びかけ合いに着目し、呼びかけとこたえが生み出す曲のよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を見通して聴く力を育てていきましょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1) 歌唱**ア、イ、ウ**(ｱ)(ｲ)(ｳ)　(3) 音楽づくり**ア**(ｱ)(ｲ)、**イ**(ｱ)(ｲ)、**ウ**(ｱ)(ｲ)
Ｂ鑑賞　**ア、イ**
〔共通事項〕
・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
　ア　音色、**旋律**、強弱
　イ　**呼びかけとこたえ**

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。(歌・鑑) ②技 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌) ③知 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。(づ) ④技 思いに合った表現をするために必要な、呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)	思① 音色、旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。(歌) 思② 旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。(づ) 思③ 音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)	態① 呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・づ・鑑)

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
たがいの こえを ききながら よびかけあって うたいましょう。	○やまびこ ごっこ (そだてよう)まねっこあそび	1 2	●\みつける/＼うたう/ 呼びかけとこたえの表現を楽しみながら、曲想との関わりに気付く。 ●互いの声を聴き合って、「まねっこあそび」をして楽しむ。 ●\かんがえる/＼うたう/ 歌い方や声の出し方を工夫して、呼びかけ合いを楽しむ。	◆曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【演奏聴取】 ◆音色、旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思①【発言内容、演奏聴取】 ◆思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】
よびかけあうように せんりつを つなげて あそびましょう。	☆せんりつの よびかけっこ	3 4	●\みつける/ どれみふぁそ の中から三つの音を選んで旋律をつくり、つくった旋律を使って、まねっこしたりつなげたりして、その面白さに気付く。 ●\つくる/＼かんがえる/ 呼びかけ合うような旋律になるように、つくった旋律のつなげ方について思いをもってつくり、聴き合う。	◆音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ③知【演奏聴取、ワークシート】 ◆旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。 思②【演奏聴取、ワークシート】 ◆思いに合った表現をするために必要な、呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ④技【演奏聴取、ワークシート】
せんりつが よびかけあう おもしろさを かんじながら ききましょう。	♪こうしんきょく	5 6	●曲全体の曲想を感じ取って聴く。 ●\みつける/ 呼びかけ合う旋律を口ずさみながら、楽器の音色を感じ取って聴き、曲想との関わりに気付く。 ●\かんがえる/ 呼びかけ合う旋律のよさや面白さ、曲の美しさを楽しんで聴く。	◆曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察】 ◆音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思③【行動観察、発言内容】 ◆呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【発言内容、ワークシート】 ※第１時から第６時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	7. がっきと なかよく なろう	扱い時数の目安 ８時間
題材の目標	(1) 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能や、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音色、リズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかや、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる打楽器の音色に親しむ。	

題材の意図

この題材では、身近な打楽器そのものやそれらの音色への興味・関心を育てながら、音色の違いや音の様々な特徴を捉えて表現の仕方を工夫することに重点を置いています。そして、様々な打楽器の音色とそれらの演奏の仕方との関わりに気付き、それを基に表現の工夫を進めるようにします。

そこで得た楽器の音色への興味・関心を基にして、様々な音の鳴らし方の中から自分の気に入った音を見付けて歌と合わせて発表したり打楽器の音の魅力を共有したりします。音楽づくりでは、それらの組合せによる響きの違いを意識しながら簡単な音楽をつくり、鑑賞の学習では、音色とリズムが生み出す面白さに着目しながら、曲全体を楽しんで聴くことができるようにします。

この題材で気付いたり発見したりした音のよさや面白さと、その演奏の仕方との関わりについては、音色を中心とする表現への思いの土台となるものです。楽器演奏の基礎基本を押さえながら、子供たちが思いをもって表現する楽しさも味わえるようにしましょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1)歌唱イ、ウ(ｱ)(ｳ)　(2)器楽**ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ**(ｱ)**(ｲ)**(ｳ)
　　(3)音楽づくり**ア**(ｱ)**(ｲ)、イ**(ｱ)**(ｲ)、ウ**(ｱ)**(ｲ)**
Ｂ鑑賞　**ア、イ**
〔共通事項〕
・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
　ア　**音色、**リズム、拍
　イ　反復、呼びかけとこたえ

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。(器) ②知 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。（歌・器・鑑） ③技 思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。（器） ④知 打楽器の音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。(づ) ⑤技 思いに合った表現をするために必要な、反復や呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)	思① 音色、リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。(器) 思② 音色、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。(づ) 思③ 音色、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑）	態① 打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(器・づ・鑑)

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
いろいろな おとを みつけて ならしましょう。	◇☆おとさがし	1	●\みつける/ 様々な演奏の仕方を試し、一つの楽器からいろいろな音色を見付ける。 ●\かんがえる/\えんそうする/ 選んだ楽器で、いろいろな演奏の仕方を試しながら、気に入った音を探して友達に紹介する。	◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、演奏聴取】
きに いった おとを みつけて、 うたと いっしょに ならしましょう。	◇○さがして みよう　ならして みよう	2 3	●\みつける/ 音楽の感じや歌詞に合う楽器の音や演奏の仕方を見付ける。 ●\かんがえる/ 鳴らす順番を決め、演奏の仕方を工夫しながら、どのように表現するかについて思いをもつ。 ●\えんそうする/ 演奏の仕方に気を付けながら、歌に合わせて演奏する。	◆曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ②知【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆音色、リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 思①【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【演奏聴取】
えから おもいうかべた おとを くみあわせて、おんがくを つくりましょう。	☆えから うまれる おんがく	4 5 6	●\みつける/ 絵や擬音語から想像する楽器の音を探し、紹介し合いながらつなげ方を試す。 ●\かんがえる/ 音のつなげ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。 ●\つくる/ 反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくり、発表して聴き合う。	◆打楽器の音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ④知【発言内容、演奏聴取】 ◆音色、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。 思②【発言内容、演奏聴取、ワークシート】 ◆思いに合った表現をするために必要な、反復や呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ⑤技【演奏聴取、ワークシート】
みみを すまして がっきの おとを ききましょう。	♪シンコペーテッド クロック	7 8	●\みつける/ 曲想と楽器の音色やリズムとの関わりに気付く。 ●\かんがえる/ 曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く。	◆曲想と音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ②知【行動観察、発言内容】 ◆音色、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思③【行動観察、発言内容】 ◆打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【発言内容、行動観察、ワークシート】 ※第１時から第８時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	8. ようすを おもいうかべよう	扱い時数のめやす ６時間
題材の目標	(1) 曲想と音色や速度、旋律、強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 音楽や歌詞の内容を基に情景を思い浮かべる学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組む。	

題材の意図

この題材では、歌詞の表す様子を想像し、思いをもって表情豊かに表現したり、音楽を聴いて場面の様子を想像しながら曲想を感じ取って、鑑賞する楽しさを味わったりする学習に焦点を当てて進めます。

音楽に合わせて体を動かしたり、気付いたことを発表したりしながら、場面ごとの曲想を感じ取る力や、歌詞の表す様子を想像しながら、曲想や語感に合った表現を工夫する力を養います。

これまでは、音楽を表現するうえで基本となる拍やリズム、音色などに対する感覚を中心に育ててきました。ここでは、表現を豊かなものにするために必要な子供たちの感性を育てることにも配慮し、歌詞を表情豊かに音読したり、生活体験と関連付けたりしながら、曲想と歌詞の表す様子や音楽を形づくっている要素とを関連付けることができるようにしましょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1) 歌唱**ア、イ、ウ**(ｱ)(ｲ)　(2) **器楽ア、イ**(ｱ)(ｲ)、**ウ**(ｱ)(ｲ)
Ｂ鑑賞　**ア、イ**
〔共通事項〕
・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
　ア　音色、速度、旋律、強弱、フレーズ

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 曲想と音色や速度、旋律、強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。（歌・器・鑑） ②技 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。（歌） ③知・技 楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカや鉄琴を演奏する技能を身に付けて演奏している。（器）	思① 音色、速度、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。（歌・器） 思② 速度、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑）	態① 音楽や歌詞の内容を基に情景を思い浮かべる学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（歌・器・鑑）

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
ほしぞらの ようすを おもいうかべながら、うたったり えんそうしたり しましょう。	○◇きらきらぼし	1	●\みつける/ 歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら音程や発音に気を付けて歌い、曲想を捉える。	◆曲想と音色や速度、旋律、強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】
		2	●\かんがえる/ 曲想に合った歌い方や演奏の仕方について思いをもつ。	◆音色、速度、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 思①【行動観察、発言内容、演奏聴取】
		3	●\うたう/\えんそうする/ 曲想を生かした声や音の出し方に気を付け、歌ったり演奏したりする。	◆思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】 ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカや鉄琴を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③知・技【演奏聴取】
にんぎょうの ようすを おもいうかべながら ききましょう。	♪にんぎょうの ゆめと めざめ	4	●\みつける/ 曲想と旋律やその変化などとの関わりに気付き、情景を想像しながら聴く。	◆曲想と音色や速度、旋律、強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
		5	●\かんがえる/ 場面が変わっていく面白さを味わって聴く。	◆速度、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思②【行動観察、発言内容】
かしの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	○はる なつ あき ふゆ	(5)	●\みつける/ 歌詞の表す情景を想像し、曲想と旋律や伴奏、強弱、速度との関わりに気付く。	
		6	●\かんがえる/ 声の音色や速度、強弱を考え、歌い方を工夫してどのように歌うかについて思いをもつ。 ●\うたう/ 工夫した歌い方を生かして、歌詞の感じが伝わるように歌う。	◆音色、速度、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 思①【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【発言内容、演奏聴取】 ◆音楽や歌詞の内容を基に情景を思い浮かべる学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容】 ※第１時から第６時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	9. にほんの　うたを　たのしもう	扱い時数の目安 4時間
題材の目標	(1) 曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) わらべうたの旋律や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、生活の中の遊びに生かす。	

題材の意図

わらべうたは、子供の遊びや親子の会話の中などで、生まれ伝わってきたものです。だからこそ、日本人がもっている音感覚に根ざした音楽だともいえます。

この題材では、友達と一緒に遊びながら、わらべうたを歌う楽しさを味わう活動を通して、我が国や郷土の音楽のもつ雰囲気や表情などに自然に親しむことをねらっています。わらべうたを知らない子供たちのため、まず、鑑賞用 CD や教科書の二次元コードを活用して、どんな遊び方をするのか、興味をもって聴くことから始めましょう。そして、絵描きうたや縄跳びうた、手遊びうたを通して、旋律、拍、速度など、音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取っていきます。教材については、地域のわらべうたを取り上げたり、地域に応じた歌い方や遊び方で遊んだりするとよいでしょう。地域の方をお招きした「わらべうた遊び」などは、子供たちが、生活の中の音や音楽と主体的に関わっていくことができる場となることでしょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1) 歌唱**ア**、イ、**ウ**(ｱ) **(ｳ)**
Ｂ鑑賞　**ア、イ**
〔共通事項〕
・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
　ア　速度、**旋律、拍**

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。（歌・鑑） ②技 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（歌）	思① 旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑） 思② 速度、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。（歌）	態① わらべうたの旋律や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（歌・鑑）

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
わらべうたを きいたり うたったり して あそびましょう。	♪さんちゃんが／おおなみ こなみ	1	●\みつける/ 「さんちゃんが」を聴いて、曲想と旋律や拍、歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付く。	◆曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容、ワークシート】
		2	●\かんがえる/ 「おおなみ こなみ」を聴いて、拍を感じ取りながら楽しく遊ぶ様子を思い浮かべる。	◆旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、発言内容】
ともだちと いっしょに あそびながら うたいましょう。	○おちゃらか ほい	3	●\みつける/\かんがえる/ 速度の違いを感じ取って、「おちゃらか ほい」の表現の仕方に思いをもつ。	◆速度、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思②【発言内容、行動観察】
		4	●\うたう/ 速度の変化を付けながら、歌声や体の動きを合わせて「おちゃらか ほい」を歌う。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】 ◆わらべうたの旋律や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、演奏聴取】 ※第１時から第４時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	10．みんなで あわせて たのしもう	扱い時数の目安 10時間
題材の目標	(1)　曲想とリズムや旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)　音色、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)　歌声や楽器の音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に表現する楽しさを感じる。	

題材の意図

１年生の音楽学習のまとめとなるこの題材では、友達の歌声や楽器の音を聴きながら、音や気持ちを合わせて表現する能力を育てることに重点を置いています。

子供たちの発達段階に配慮しながら、互いの歌声や楽器の音を聴きながら表現する力を育てるために、あらためて友達の声に耳を傾ける活動から始め、最終的には、みんなの歌声や楽器の音を合わせることによって、さらに音楽の楽しみの場が広がることに気付いていけるようにします。

鑑賞では、１年間のまとめとして、友達と自分が感じたこの曲の好きなところや面白いところを伝え合う活動を取り入れつつ、曲や演奏の楽しさを見いだして、曲全体を味わって聴くことができるようにしましょう。

学習指導要領との関連

Ａ表現　(1)歌唱**ア、イ、ウ(ｱ)(ｲ)(ｳ)**　(2)**器楽ア、イ(ｱ)**(ｲ)、**ウ(ｱ)(ｲ)(ｳ)**
Ｂ鑑賞　**ア、イ**
〔共通事項〕
・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
　ア　音色、リズム、旋律、強弱、音の重なり
　イ　呼びかけとこたえ

題材の評価規準

知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 曲想とリズムや旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。（歌・器・鑑） ②技 思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（歌） ③技 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。（歌・器） ④技 思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能や、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカや鉄琴を演奏する技能を身に付けて演奏している。（器）	思① 旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。（歌） 思② 音色、リズム、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。（器） 思③ リズム、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑）	態① 歌声や楽器の音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（歌・器・鑑）

学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり ♪…鑑賞　(共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
たがいの うたごえを ききあいながら うたいましょう。	○あいあい	1	●曲想を感じ取りながら「あいあい」を楽しむ。 ●**\みつける/** 二つの組に分かれて歌い、まねっこの面白さに気付く。	◆曲想とリズムや旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】
		2	●**\かんがえる/** まねっこを楽しみながら歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 ●**\うたう/** 互いの声を聴きながら、声の出し方に気を付けて歌う。	◆旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思①【発言内容、演奏聴取】 ◆思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】
うたごえと がっきの おとを あわせて えんそうしましょう。	○◇とんくるりん ぱんくるりん	3	●**\みつける/** ３拍子の拍のまとまりを感じながら表現し、あといの曲想の違いに気付く。	◆曲想とリズムや旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】
		4	●**\えんそうする/＼うたう/** 互いの歌声や楽器の音をよく聴きながら、歌と楽器を合わせて表現する。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ③技【演奏聴取】
たがいの がっきの おとを ききあいながら えんそうしましょう。	◇○こいぬの マーチ	5	●**\みつける/** 歌詞の表す様子を想像しながら歌い、あといの曲想の違いに気付く。	◆曲想とリズムや旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】
		6	●範唱や範奏を聴き、絵譜を見て鍵盤ハーモニカや鉄琴を演奏する。	◆思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能や、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカや鉄琴を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ④技【演奏聴取】
		7	●**\かんがえる/** あといの感じの違いを生かして演奏の仕方を工夫し、表現について思いをもつ。	◆音色、リズム、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 思②【発言内容、演奏聴取】
		8	●**\えんそうする/** 互いの音を聴き合いながら、音色や音量のバランスに気を付けて合奏する。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【演奏聴取】
がっそうの たのしさを かんじながら ききましょう。	♪クシコスポスト	9	●**\みつける/** 音楽に合わせて体を動かしながら聴き、曲想とリズムや旋律、速度などとの関わりに気付く。	◆曲想とリズムや旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察】
		10	●**\かんがえる/** 音楽の変化を感じ取りながら曲全体を聴き、曲や演奏の楽しさを伝え合う。	◆リズム、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思③【行動観察、発言内容】 ◆歌声や楽器の音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ※第１時から第10時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。